

平成23年10月12日(水)  
平成23年度第5回  
大阪府河川整備委員会

参考資料3

# 二級河川芦田川に関する河川整備計画（原案） 及び建設事業再々評価についての住民説明会

と き：平成23年9月9日（金）19時から  
と ころ：高石市役所 別館3階多目的ホール

本説明資料は、大阪府河川室ホームページでも見るすることができます。  
(アドレス [http://www.pref.osaka.jp/s\\_kasen/](http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/))

# 本日の説明会のポイントと流れ

(第1部)

① 治水を河川から流域全体へ  
(大阪府の新たな治水対策)

② 芦田川の現状について  
(芦田川水系河川整備計画(原案))

③ これからの芦田川での取組みについて  
(芦田川水系河川整備計画(原案))

④ 事業継続の妥当性について  
(建設事業再々評価)

(質疑・応答)

(休憩)

(第2部)

⑤ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組みについて  
(洪水リスク開示)

(質疑・応答)

# ① 治水を河川から流域全体へ

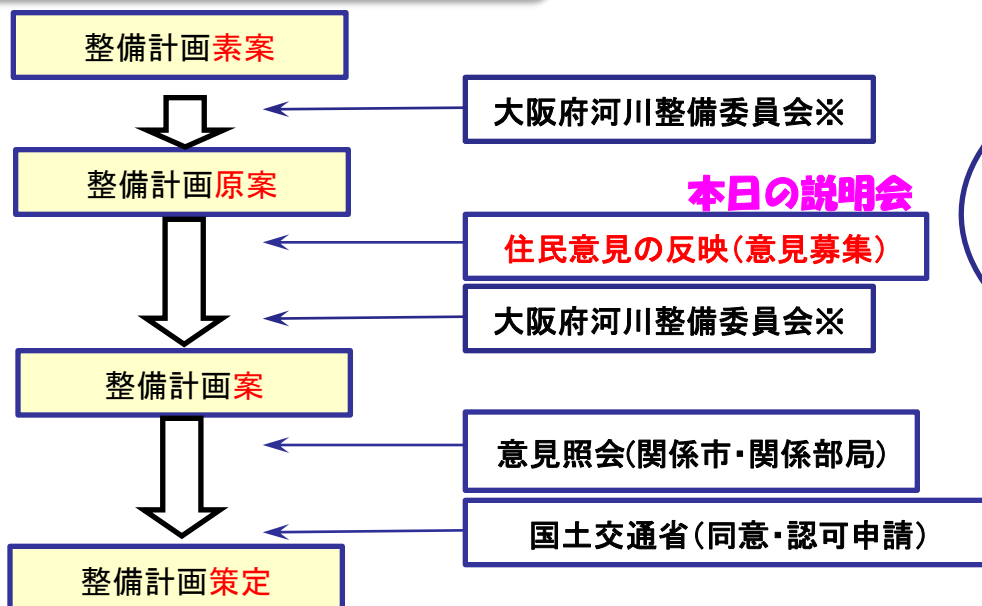
## 河川整備計画とは

河川整備計画とは、河川法に基づき作成する計画であり、上位計画である河川整備基本方針に沿って、計画的に河川整備を実施するため、**今後20～30年の具体的な目標、整備内容を定めるもの。**

河川整備基本方針とは、将来の川のあるべき姿や河川整備の長期的な基本となる方針を治水・利水・環境について定めるもの。

※河川法における治水・利水・環境とは、  
治水: 河川のはん濫を防いだり、農業用水などの水利用に便宜を図ること  
利水: 河川水を農業・工業・上水などに利用すること  
環境: 河川を中心とした水辺空間や多様な生物の生息・生育空間

## 河川整備計画の策定フロー



河川整備計画は、河川法に基づいて、学識経験者や地域住民の意見を聴きながら策定していきます。



河川整備委員会とは学識経験者等による外部委員会



# ① 治水を河川から流域全体へ

## 新たな治水対策

【基本的な理念】 人命を守ることを最優先する。

【取組み方針】

- (1) 現状での河川はん濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2) 「逃げる」<sup>に</sup>「凌ぐ」<sup>しの</sup> 施策を強化するとともに、「防ぐ」<sup>ふせ</sup> 施策を着実に実施する。
- (3) 府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川はん濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

## 将来目標（長期計画）

府管理の全河川について、時間雨量 80ミリの降雨でも、川があふれて、家が流され、人がなくなるようなことをなくす。

※時間雨量80ミリの降雨は、概ね100年に一度発生する恐れがある降雨。

## 当面の治水目標

【今後20～30年の当面の治水目標】

時間雨量50ミリで床下浸水を発生させない。

かつ、少なくとも時間雨量65ミリで床上浸水を発生させない。

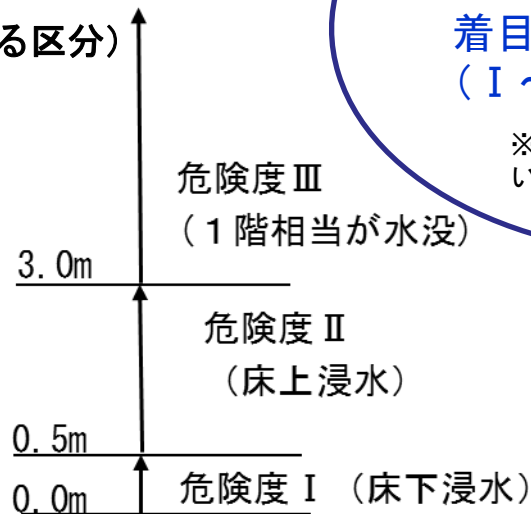
※時間雨量50ミリの降雨は、概ね10年に一度発生する恐れがある降雨。  
時間雨量65ミリの降雨は、概ね30年に一度発生する恐れがある降雨。



# ① 治水を河川から流域全体へ

## 地先の洪水はん濫・浸水による被害の区分

### ◆ 想定浸水区分 (水に浸かる深さによる区分)

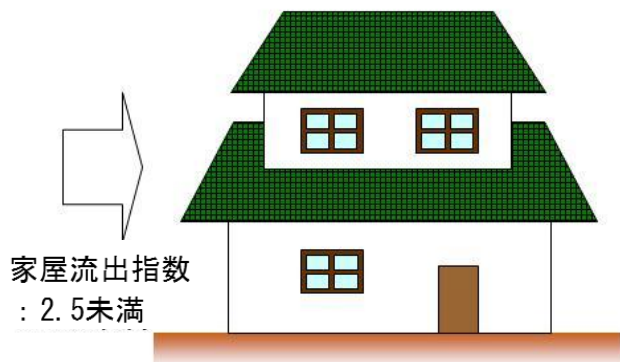


現状の地先の河川はん濫・浸水による被害に着目し、3段階の危険度 (Ⅰ～Ⅲ)に区分します。

※地先とは、みなさんがお住まいの場所を指します。



### ◆ 家屋流出指数による区分 (洪水の流れの強さによる区分)



※家屋流出指数とは、はん濫水の流速と水深によって決まる値で、はん濫水の流れが引き起こす力のことです。

危険度Ⅲ (木造家屋が流出する危険性あり)

# ① 治水を河川から流域全体へ

## 総合的・効果的な治水手法の組合せ

### 流出抑制

雨が降っても河川へ出る水量を減らす。  
(家庭での貯留施設の設置やため池の治水活用など)

### 治水施設の保全・整備

河川堤防の決壊によるはん濫をできるだけ回避するなど、  
河川へ出てきた水は可能な限りあふれさせない。  
(河川改修・堆積土砂除去など)

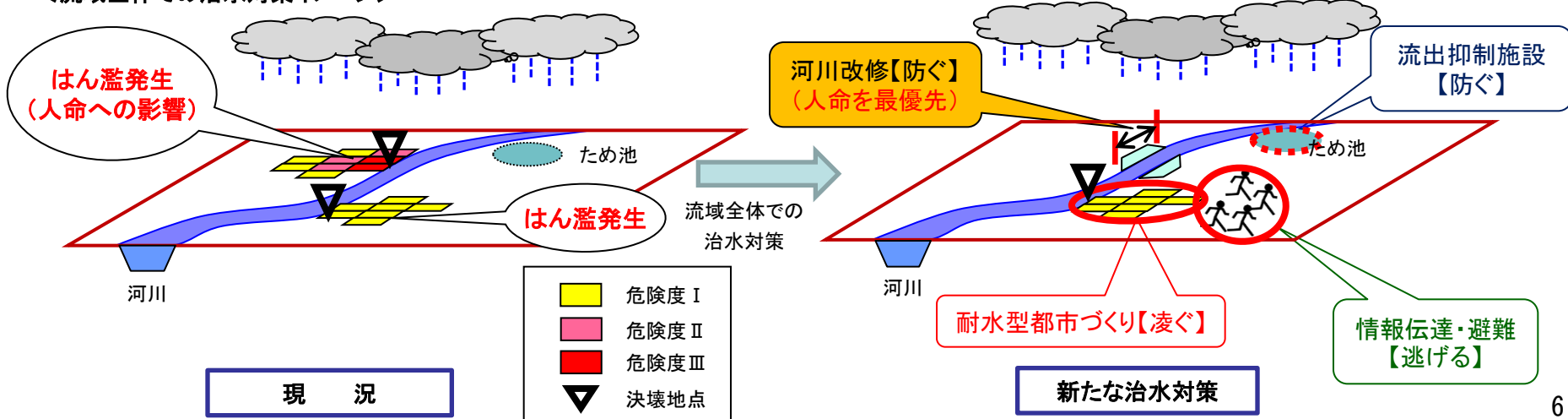
### 耐水型都市づくり

河川からあふれても被害が最小限となる街をつくる。  
(家屋の耐水化・高床化などの促進)

### 情報伝達・避難

河川からあふれそうなときはできるだけ早く逃げる。  
(洪水はん濫・浸水による危険性の周知、避難体制づくりの促進など)

#### <流域全体での治水対策イメージ>





# ② 芦田川の現状について

## 流域の概要

○流域面積：6.68km<sup>2</sup>

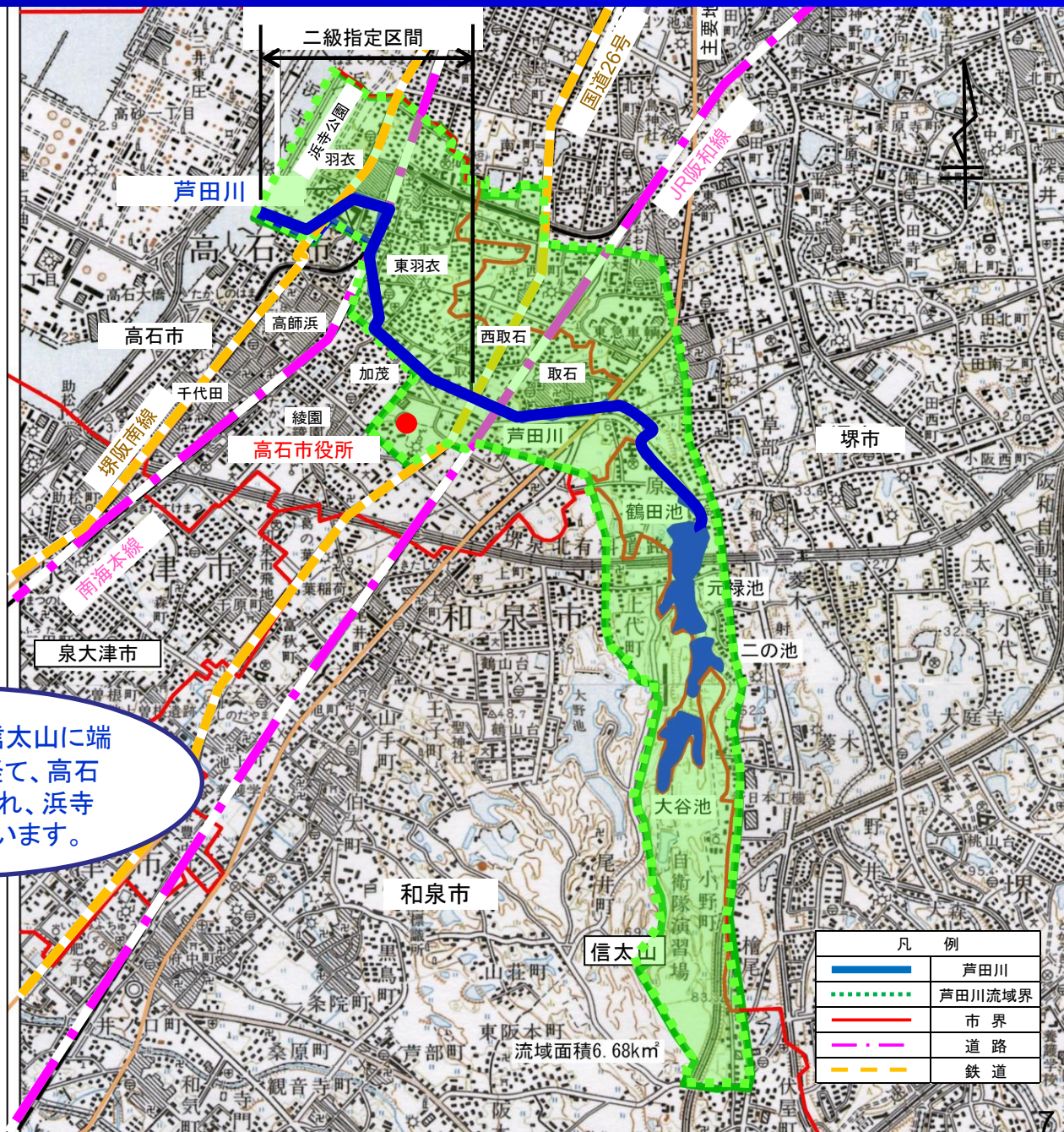
高石市	2.80km <sup>2</sup>
堺市	2.14km <sup>2</sup>
和泉市	1.74km <sup>2</sup>

○流路延長：5.1km

うち二級河川区間：2.8km(河口～国道26号)

○流域の気候：温暖乾燥型(瀬戸内海型気候)

年平均気温	17.1℃
年平均降雨量	1,105.8mm



芦田川は、信太山に端を發し、堺市を経て、高石市の中心部を流れ、浜寺水路へ繋がっています。



凡 例	
	芦田川
	芦田川流域界
	市界
	道路
	鉄道

流域面積6.68km<sup>2</sup>



# ② 芦田川の現状について

## 流域の景観・自然環境



河口部

下流部

中流部

上流部

【中流部で確認された主な動植物】  
 (甲殻類)スジエビ  
 (貝類)マルタニシ  
 (爬虫類)クサガメ  
 (鳥類)コサギ、ゴイサギ、キセキレイ  
 ハクセキレイ、セグロセキレイ  
 (植物)ツルヨシ、ススキ、サクラ

【上流部で確認された主な動植物】  
 (鳥類)ウズラ、ヨシゴイ、ハチクマ等  
 100種を超える野鳥を確認  
 (昆虫類)ハッチョウトンボ、ジャノメチョウ  
 ウスバカマキリ  
 (植物)モウセンゴケ、イシモチソウ

【下流部で確認された主な動植物】  
 (魚類)ボラ、コイ  
 (爬虫類)ミシシippアカミミガメ

【河口部で確認された主な動植物】  
 (魚類)ボラ





# ② 芦田川の現状について

## 水質

芦田川ふるさと広場付近での水質は、  
BOD濃度で6.0mg/l。(H22調査結果)  
河川としては標準的な水質です。

※BOD濃度は、河川水質の代表的  
指標であり、数値が大きいほど  
水質が悪いことを表しています。



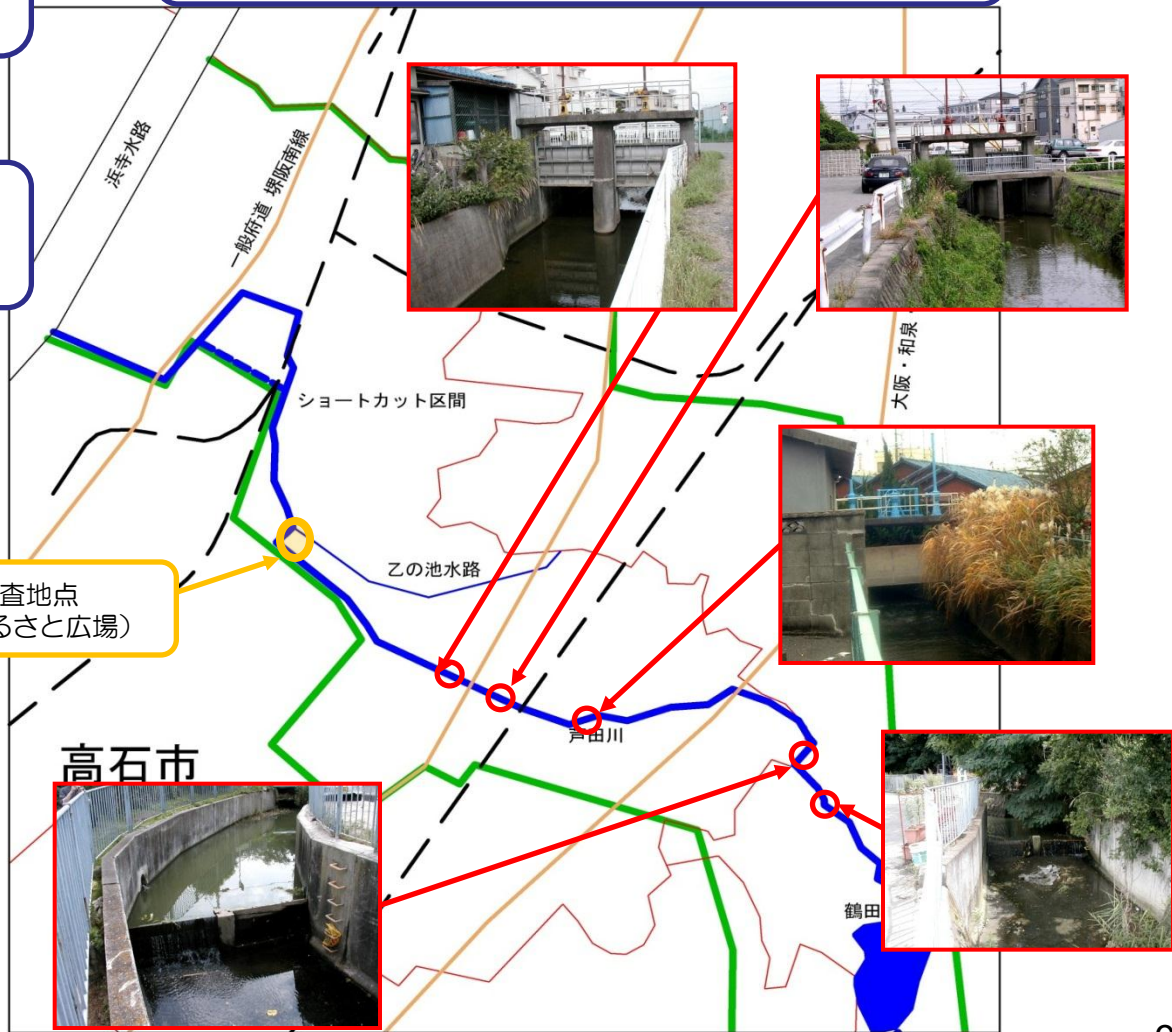
(参考)河川の水質階級と魚

水質階級	BOD濃度(mg/l)	代表的な魚
きれいな水	2.5以下	イwana・アマゴ カジカ
少し汚れた水	2.5~5.0	アユ・ウグイ
汚れた水	5.0~10.0	ギンブナ・モツゴ オイカワ・ドジョウ
非常に汚れた水	10.0以上	普通魚は生息できない

## 水利用

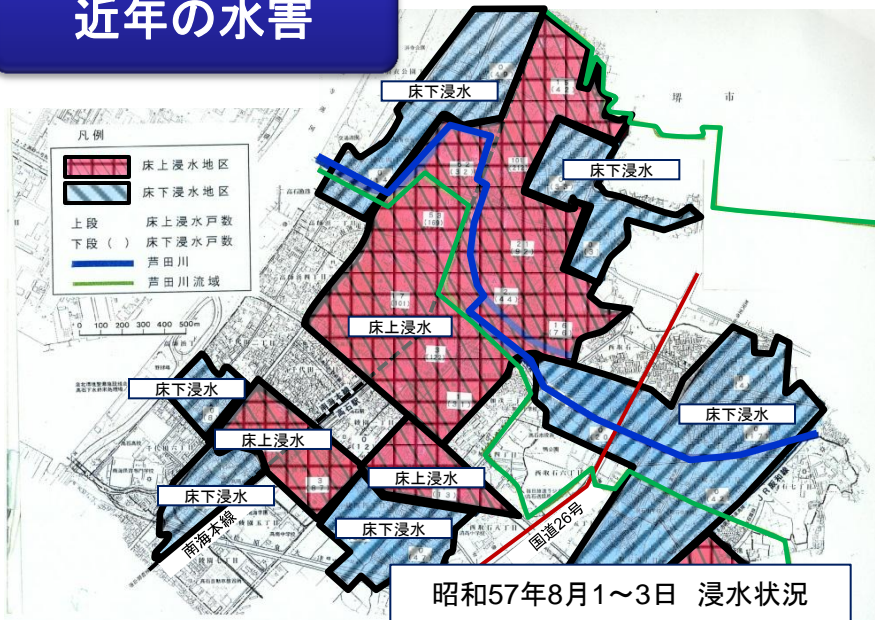
芦田川の上流部では、農業用水の取水が行  
なわれています。

水質調査地点  
(芦田川ふるさと広場)



# ② 芦田川の現状について

## 近年の水害



昭和57年8月1～3日(集中豪雨)

降雨量231.0mm、時間最大雨量53.0mm

高石市内全域で床上浸水395戸、床下浸水1559戸。

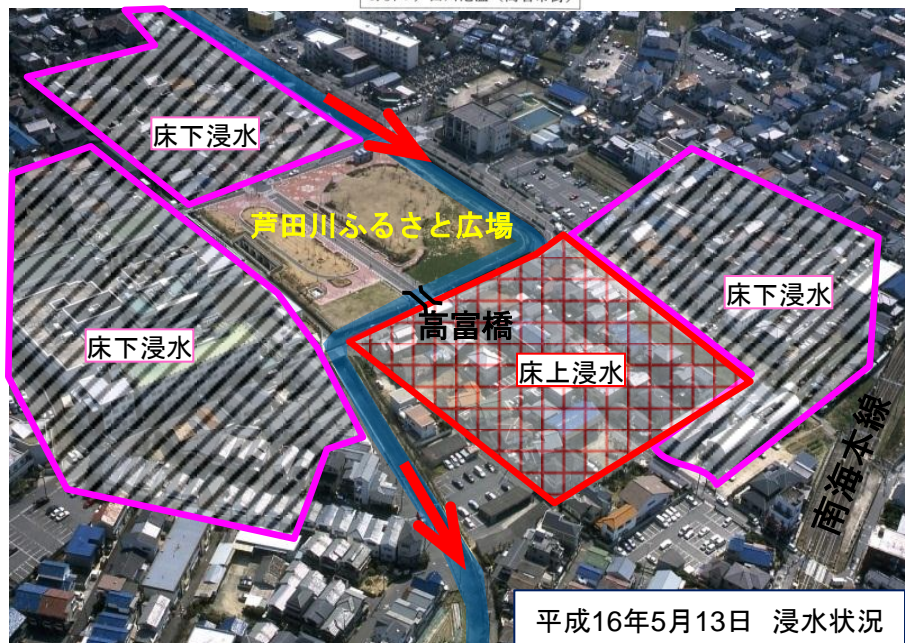


S.57の芦田川氾濫(高石市街)

平成16年5月13日(集中豪雨)

降雨量121.0mm、時間最大雨量77.0mm

高石市内全域で床上浸水92戸、床下浸水183戸。



増水時



平常時



# ② 芦田川の現状について

## これまでの治水事業

～H5 ボックス構造による河川整備  
(ショートカット区間)



～H6 防潮堤整備

浜寺水路(河口)

S63 芦田川水門整備  
(河口部)



～H12 調節池整備  
(芦田川ふるさと広場)



～H9 雨水貯留施設整備  
(高石中学校)

二層河川事業中間



未整備区間

※二層河川とは、洪水を地上部と地下部の二層に分けて流下させる構造の河川です。

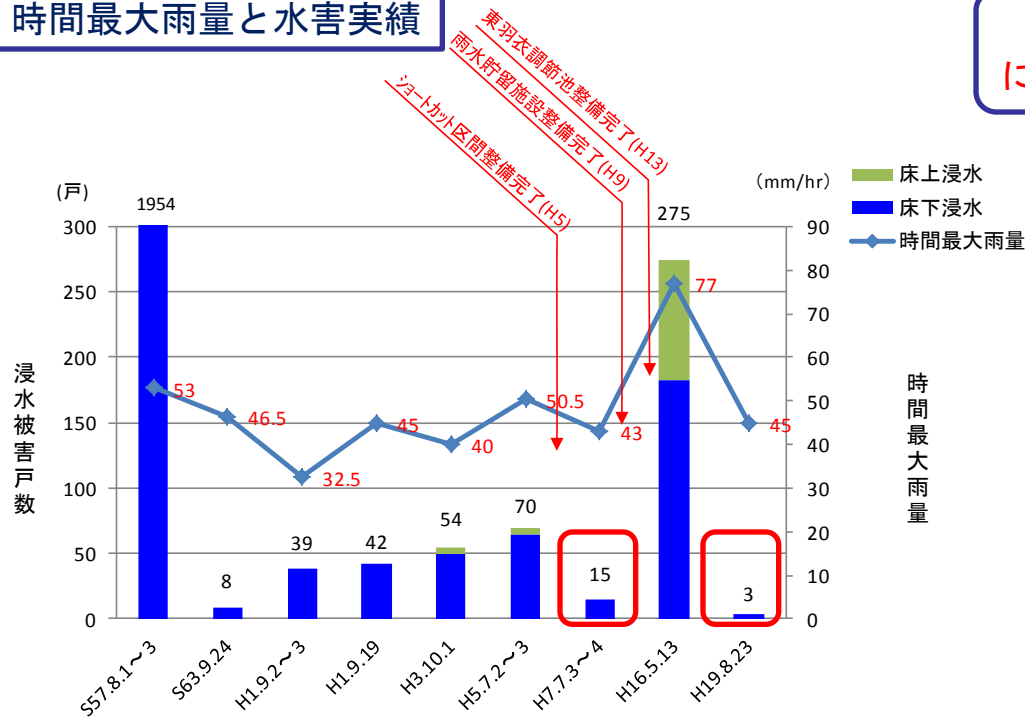
調節池内部

流域界

# ② 芦田川の現状について

## これまでの治水事業による効果

時間最大雨量と水害実績

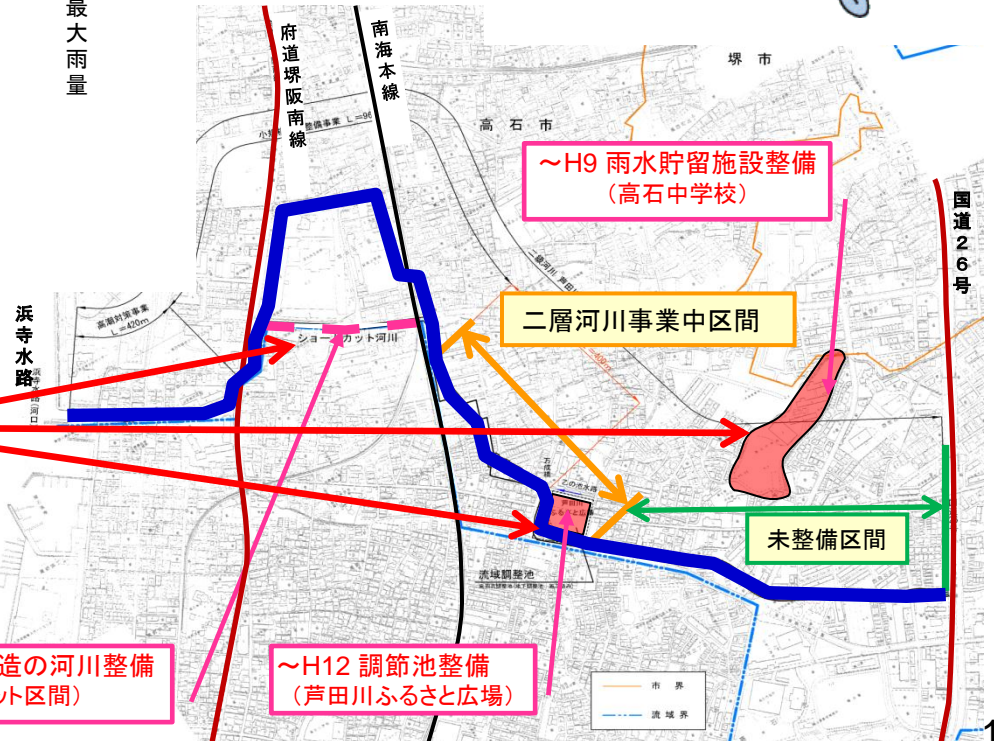


これまでの治水事業により、確実に浸水被害が減少しています。



洪水時の被害軽減に機能を発揮！

時間最大雨量



～H5 ボックス構造の河川整備 (ショートカット区間)

～H12 調節池整備 (芦田川ふるさと広場)

～H9 雨水貯留施設整備 (高石中学校)

二層河川事業中区間

未整備区間



# ② 芦田川の現状について

## 地域との取組み（芦田川整備基本構想(案)の策定）

平成21年8月より市民と行政等との協働による「みずからまもろう ふるさと芦田川の会」を設立。ワークショップにてふるさとの川の整備内容について検討し、平成23年2月19日に開催した第13回会議において芦田川整備基本構想(案)を策定。

### Cゾーン ～水辺スポットが連続した親水空間の創出～

広場と川が1つの空間として利用できるようにし、一体感を生み出します。  
また兩岸の広場に連続性を与え、子どもが川に入って横断できる空間とします。



しまだの橋 下流

### Aゾーン ～多目的な活動に対応した水辺空間の創出～

地域住民のみならず、高石市民の身近な水辺のレクリエーション空間、緑あふれる憩いの場として整備します。  
そして小学生や中学生の環境学習の場としてや、芦田川ふるさと広場との一体的な利用による様々なレクリエーションが行える賑わい・たまりの場にします。

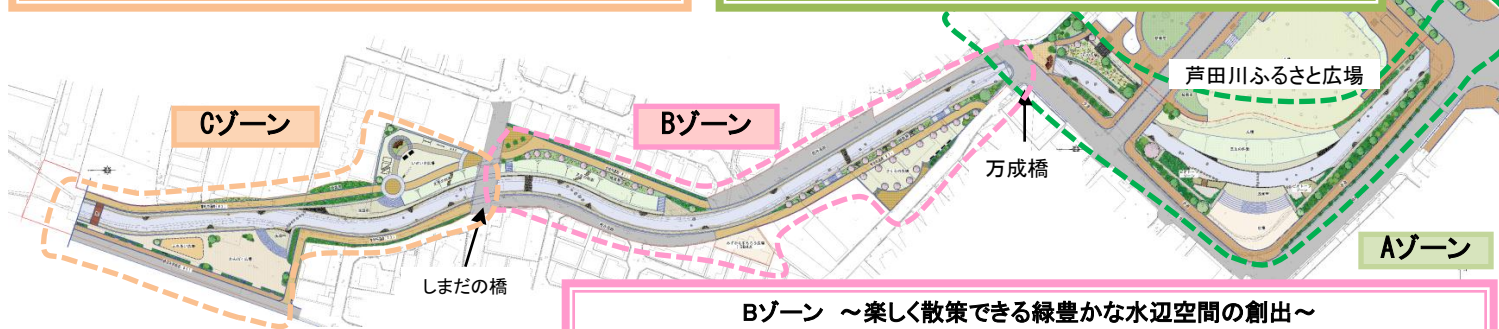


芦田川ふるさと広場

整備イメージは芦田川整備基本構想(案)であり、実際の整備にあたっては、本構想(案)を基に詳細検討を行います。



ワークショップの状況



### Bゾーン ～楽しく散策できる緑豊かな水辺空間の創出～

現在ある桜並木の再生を中心として季節感がある植栽を行うことで川岸を散策し憩えるような緑豊かな水辺空間を整備し、市民と芦田川との日常のふれあいの場をつくります。



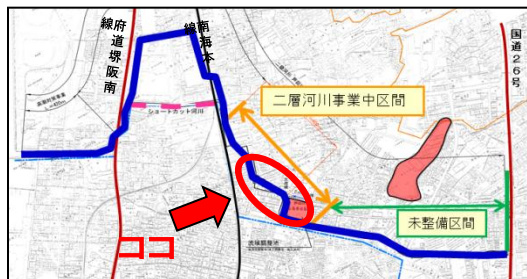
万成橋 下流



しまだの橋 上流



生き物調査の状況





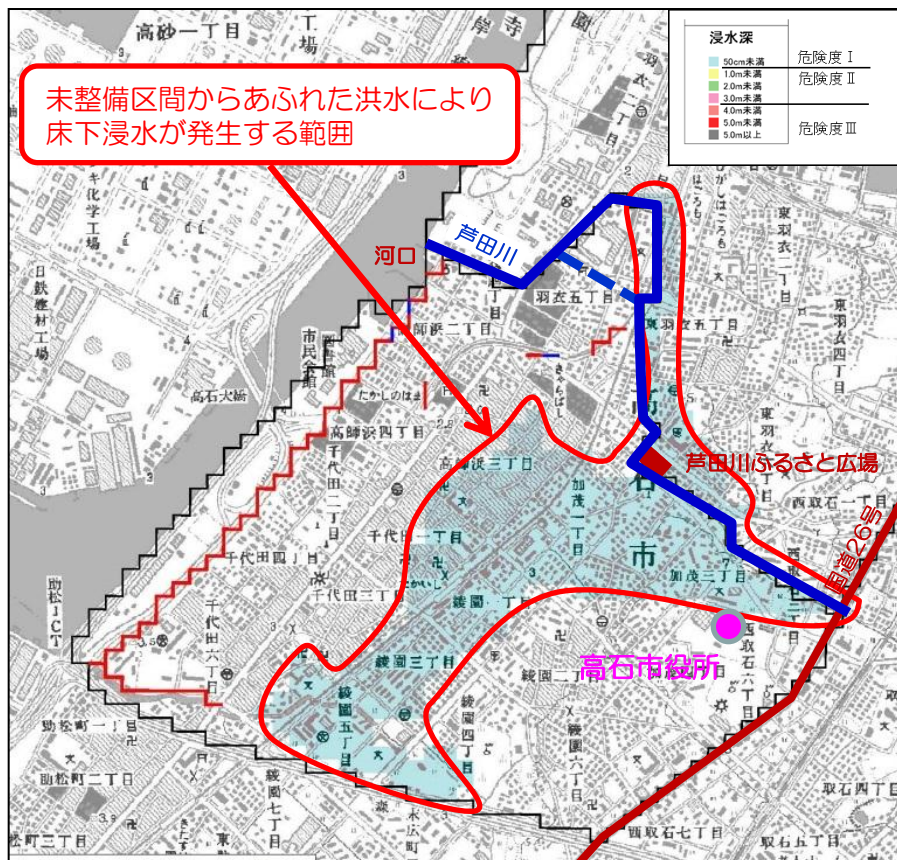
## ② 芦田川の現状について

### 芦田川の洪水氾濫・浸水の危険性

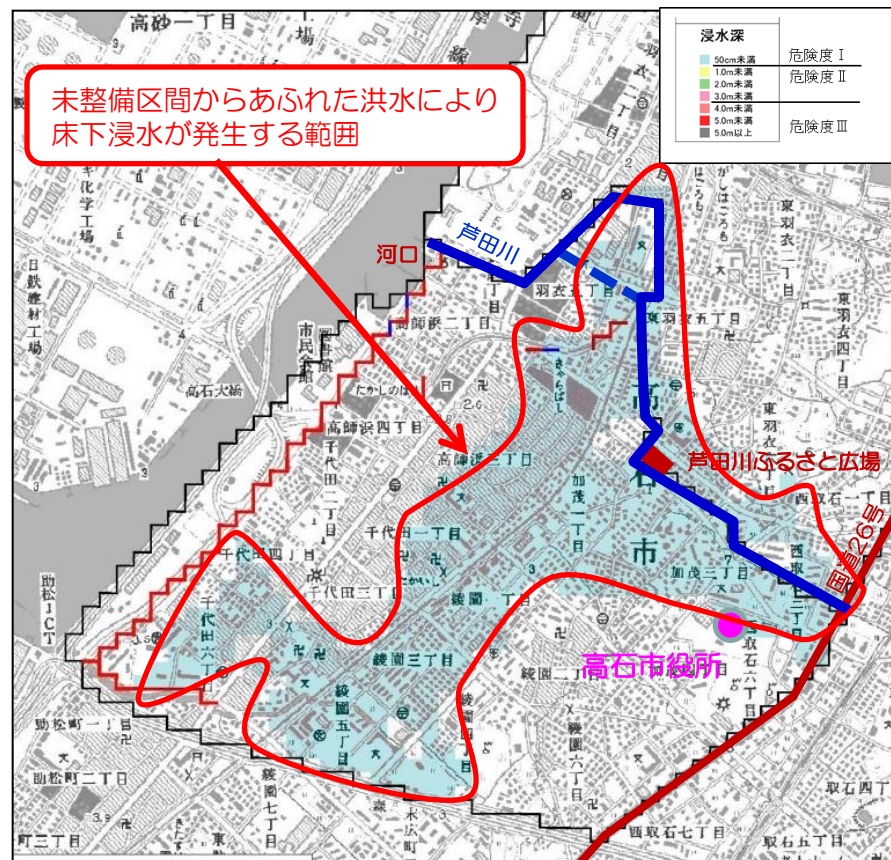
芦田川では、現在施工中の二層河川区間まで（河口部から芦田川ふるさと広場までの区間）が完成し、芦田川ふるさと広場から国道26号までの区間を未整備区間としてはん濫解析を行っています。ただし、はん濫解析には内水浸水を含んでいません。

※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水。

#### 現況 時間雨量50ミリ（10年に1度の確率雨量）



#### 現況 時間雨量65ミリ（30年に1度の確率雨量）





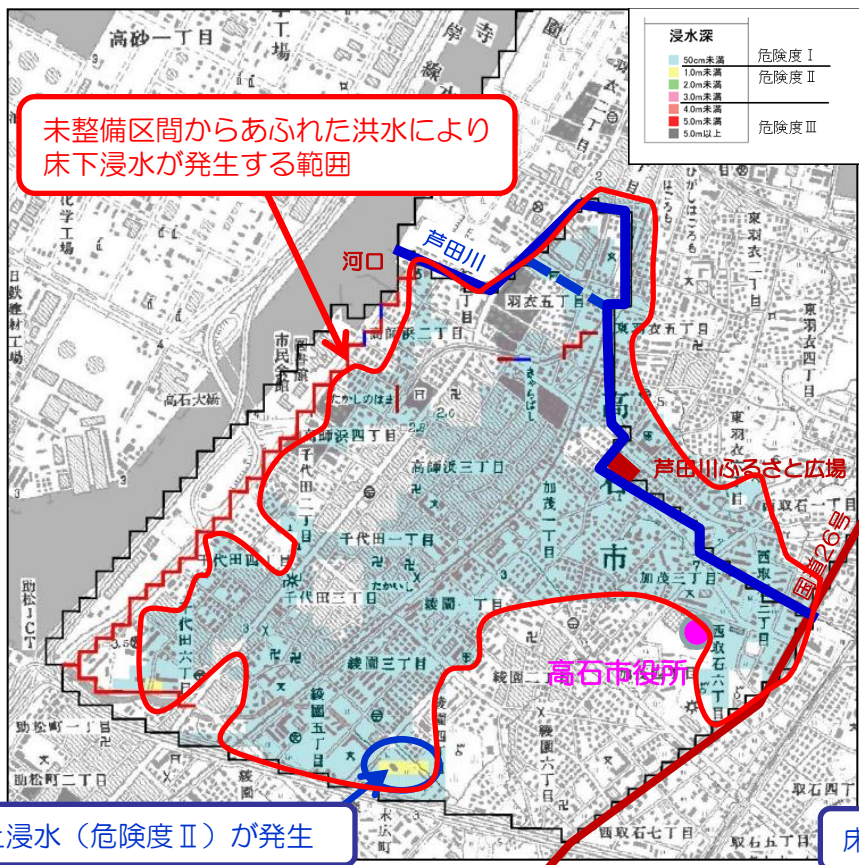
## ② 芦田川の現状について

### 芦田川の洪水氾濫・浸水の危険性

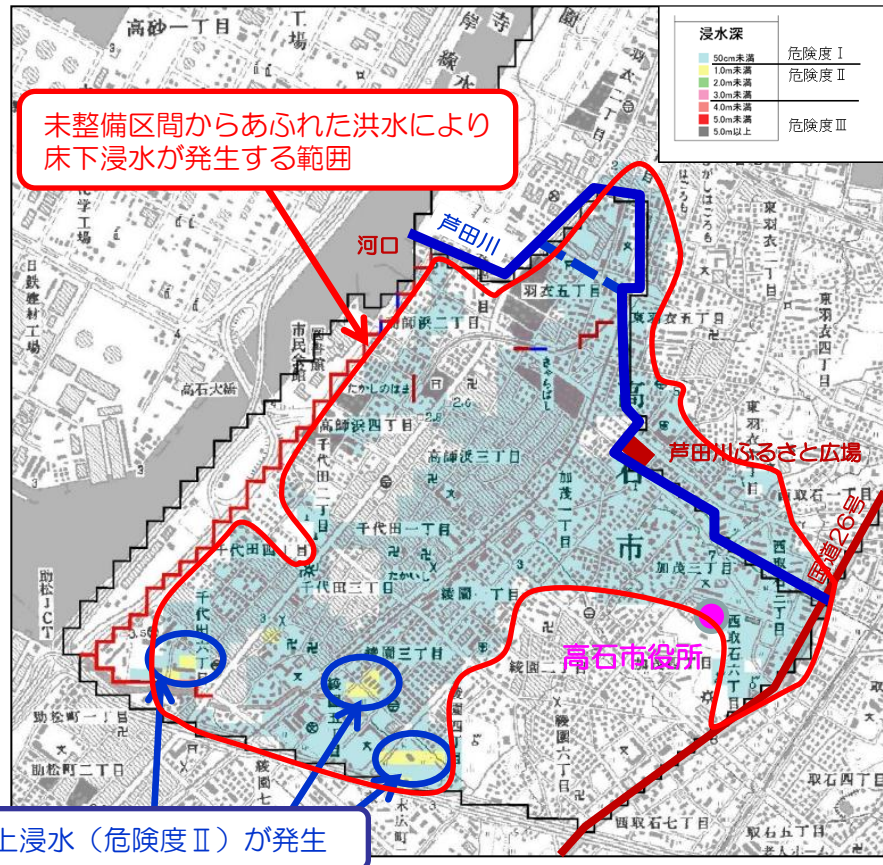
芦田川では、現在施工中の二層河川区間まで（河口部から芦田川ふるさと広場までの区間）が完成し、芦田川ふるさと広場から国道26号までの区間を未整備区間としてはん濫解析を行っています。ただし、はん濫解析には内水浸水を含んでいません。

※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水。

現況 時間雨量80ミリ（100年に1度の確率雨量）



現況 時間雨量90ミリ（200年に1度の確率雨量）





# ③ これからの芦田川での取組みについて

## 当面の治水目標

【芦田川防潮水門】  
 東南海・南海地震等による津波に備えるため、芦田川防潮水門の操作性・迅速性を向上させるため直接操作に加え遠隔監視・操作化を実施します。

将来目標に対応した河川の整備を行います。

## 当面の治水目標達成後の効果

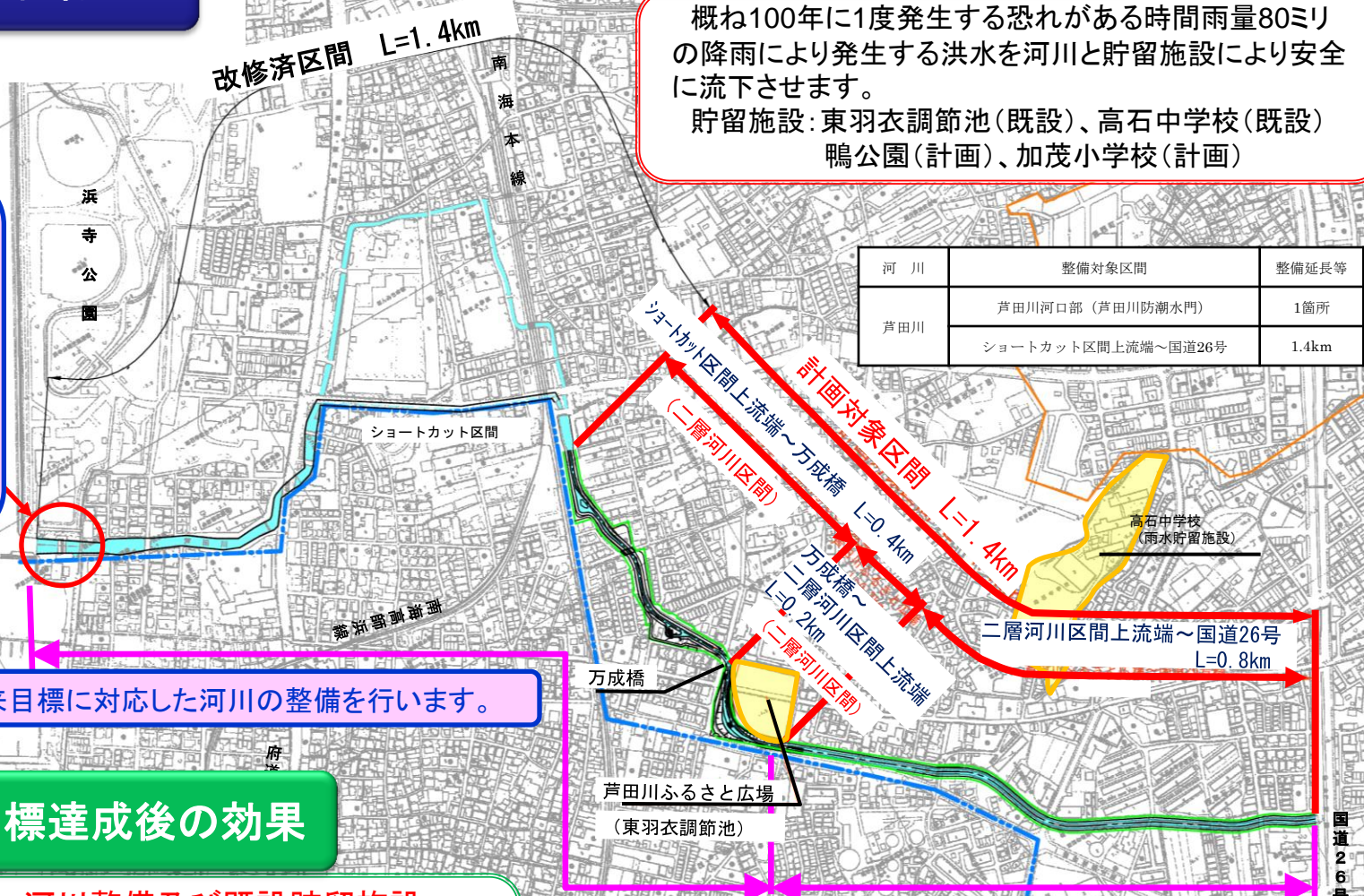
流域全体として、河川整備及び既設貯留施設（東羽衣調節池、高石中学校）によって、概ね100年に1度発生する恐れがある時間雨量80ミリの降雨で床上浸水を防ぎます。

## 将来目標（基本方針）

概ね100年に1度発生する恐れがある時間雨量80ミリの降雨により発生する洪水を河川と貯留施設により安全に流下させます。

貯留施設：東羽衣調節池（既設）、高石中学校（既設）  
 鴨公園（計画）、加茂小学校（計画）

河川	整備対象区間	整備延長等
芦田川	芦田川河口部（芦田川防潮水門）	1箇所
	ショートカット区間上流端～国道26号	1.4km



概ね10年に1度発生する恐れがある時間雨量50ミリの降雨が安全に流下することを目標として河川整備を行います。



# ③ これからの芦田川での取組みについて

## 環境整備の目標

- **多自然川づくり**：身近な自然環境にふれあえる水辺空間を創出
- **流量の確保**：農業用水の取水実態の把握と、地域住民及び農業関係者との連携
- **水質の改善**：流域住民や下水道部局、農林部局等との連携と植生を利用した取組み
- **生物多様性の保全**：特定外来生物法に基づく適正な指導と再発防止

※生物多様性とは、ある地域に生息する生物の豊かな個性とつながりのこと。

※特定外来生物法とは、生態系などに害をあたえる外来種に対する規制を定めた法律。

## 維持管理の目標

- 災害発生の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持及び河川の有する多面的機能の発揮
- 河川管理施設の点検と計画的補修
- 堆積土砂の定期的な調査と計画的な撤去
- 芦田川防潮水門及び芦田川排水機場の大規模補修、部分更新等
- 被災時の速やかな機能復旧

# ③ これからの芦田川での取組みについて

## 整備の内容

現時点での芦田川の整備イメージです。

- 二層河川区間として、地下部のボックスカルバートの設置、地上部の河川整備を実施。
- 地上部の河川整備は親水空間を創出。
- 芦田川ふるさと広場及び街路事業と一体的に整備し、水辺のレクリエーション空間・緑あふれる憩いの場・環境学習の場を創出。
- 管理用通路を活用し、“安全で快適な歩行空間”を創出。
- 橋梁の架替工事(4橋)

Cゾーン ~水辺スポットが連続した親水空間の創出~

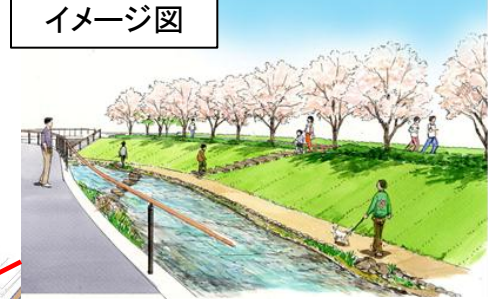
イメージ図



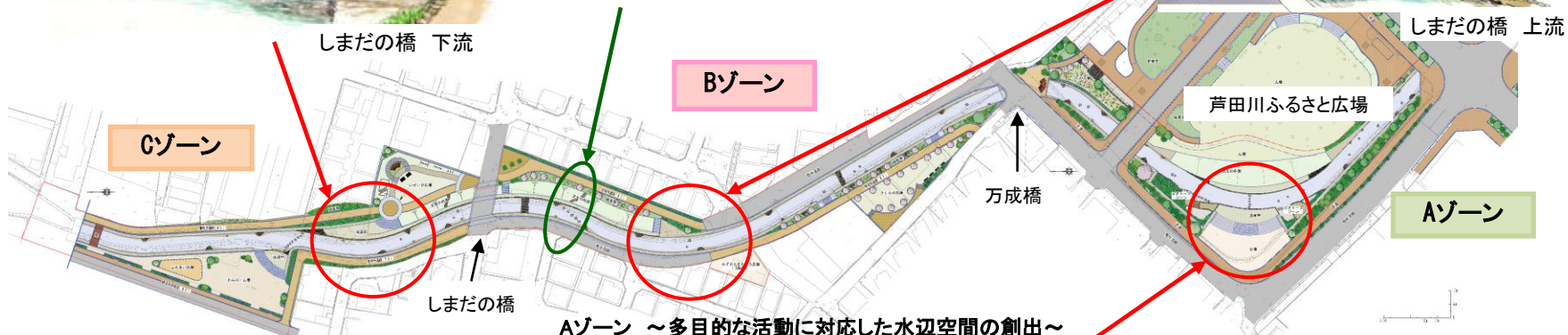
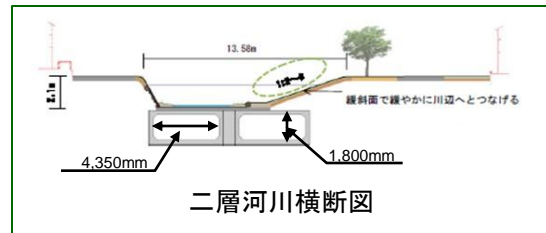
しまだの橋 下流

Bゾーン ~楽しく散歩できる緑豊かな水辺空間の創出~

イメージ図



しまだの橋 上流



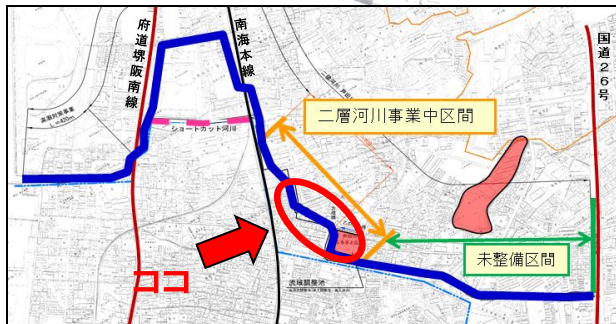
Aゾーン ~多目的な活動に対応した水辺空間の創出~

イメージ図



芦田川ふるさと広場

市民と高石市等で作成した「芦田川整備基本構想(案)」に基づき、大阪府による河川改修と高石市による上面整備を進めてまいります。



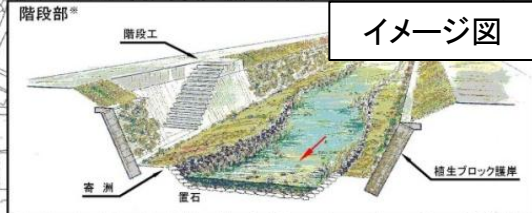


# ③ これからの芦田川での取組みについて

## 整備の内容

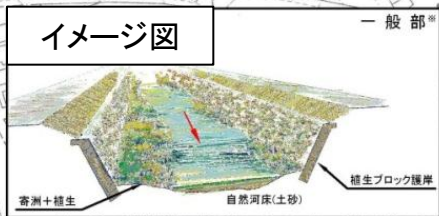
多自然型護岸・親水空間(案)

- 現況河川の拡幅。
- 植生ブロック護岸による多自然川づくり
- 植生を利用した河川の水質浄化
- まちづくりと一体整備が可能な区間については親水空間を創出。
- 橋梁の架替工事(7橋)

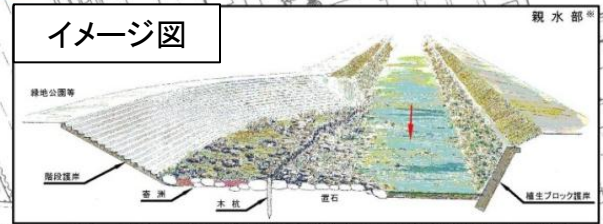


イメージ図

現時点での芦田川の整備イメージです。

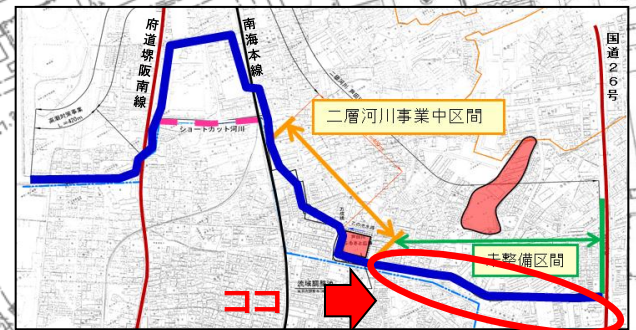
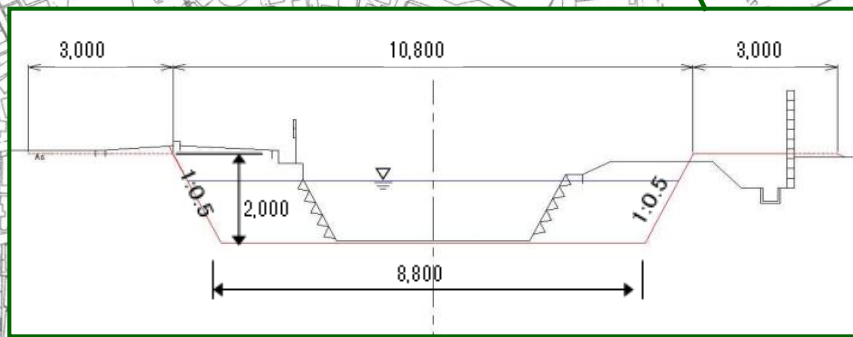


イメージ図



イメージ図

注) 用地に余裕がある箇所については親水性を持たせた整備を検討する。



河床の形状については、今後詳細な調査を行い決定する。

# ④ 事業継続の妥当性について

## 建設事業評価とは

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図ることを目的としています。

様々な視点から事業の継続や中止などを評価し、大阪府が提示する対応方針（案）を基に、学識経験者等の外部の専門家や地域住民の意見を聞き、その意見を尊重して、事業継続の妥当性を決定します。

再評価は、事業着手から10年目に実施し、再評価実施から5年毎に再々評価を実施しています。

## <再評価の視点>

1. 事業の必要性
  - ア. 事業を巡る社会経済情勢の変化
  - イ. 地元等の協力体制等
  - ウ. 事業の投資効率
  - エ. 安全・安心、活力、快適性等の有効性
  - オ. 事業の進捗状況
2. 事業進捗の見込み
3. コスト縮減や代替案立案等の可能性
4. 自然環境等への影響と対策

芦田川河川整備事業は、事業着手から10年が経過した平成17年に再評価を受け、さらに再評価から5年が経過してるので、今回は再々評価となります。





# ④ 事業継続の妥当性について

## 1. 事業の必要性

### ア. 事業をめぐる社会情勢の変化

平成16年に大規模な水害が発生するなど、**早急な治水対策が求められている。**

### イ. 地元等の協力体制等

二層河川区間については、用地買収が完了し、地元住民の協力を得ている。

### ウ. 費用便益分析等の効率性

投資効率 (B/C) = (総便益額) 880.0億円 ÷ (総費用) 67.7億円 = **13.0** ≥ 1.0

※総便益額・・・事業により、水害から直接的・間接的に被害を免れた資産の総額

※総費用・・・事業に係る全ての費用

**効率性を確保**

費用便益分析とは、芦田川の整備に係る総費用と、整備によってもたらされる便益を評価する手法です。

整備による便益は、事業着手時点から段階的に発生し、事業完了後も一定期間持続するため、評価する期間を事業完了後50年間として計算しています。

※国土交通省水管理・国土保全局発行の治水経済マニュアル（案）に基づき算定

### エ. 安全・安心、活力、快適性等の有効性

洪水はん濫に対する安全度の向上

「ふるさとの川整備計画」による地域整備との一体化

水辺空間の創出、日常に水辺を感じるやすらぎの場の提供

### オ. 事業進捗状況

用地取得率 約80%、工事進捗率 約78%

事業による採算性を示す投資効率(B/C)は、1.0以上で経済性を確保しているとされています。

**判定(案)**

早期の治水安全度の向上が求められており、事業の必要性に変更なし。



# ④ 事業継続の妥当性について

## 2. 事業の進捗の見込み

- ・ 二層河川区間については、用地買収が完了
- ・ 芦田川ふるさと広場から国道26号までの区間については、治水手法を設定し、事業を進める。

### 判定(案)

事業への地元住民の協力が得られており、早期の事業進捗が望まれている。

## 3. コスト縮減や代替案立案等の可能性

- ・ 新たな治水対策に基づくコスト縮減、代替案立案等の検証の上、治水手法を決定。

### 判定(案)

治水手法の検証結果により現計画が最適である。

## 4. 自然環境等への影響と対策

- (影響) 河川改修(河道拡幅及び河床掘削)により画一的な川となり、市民の憩いの空間である桜並木も失われ市街地内の憩いの場が無くなる。
- (対策) 二層河川、緩勾配河道とすることで今以上に親水性が確保され、また市民に愛されている桜並木の保全も可能となる。  
都市部における貴重な自然とのふれあい空間を創出することにより、多様な植生物の育成・生息空間が生まれる。

### 対応方針(案)

1～4の視点を踏まえ、事業の継続と判断



# 皆様のご意見をおねがいします

芦田川に関する河川整備計画(原案)及び建設事業再々評価について  
詳しい内容について知りたい方

(1)大阪府都市整備部河川室のホームページに掲載しています。

(アドレス [http://www.pref.osaka.jp/s\\_kasen/](http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/))

(2)以下の場所で資料を備えています。

大阪府府政情報センター(大阪府庁本館1階)

大阪府都市整備部河川室(大阪府庁別館4階)

大阪府鳳土木事務所(泉北府民センタービル2階)

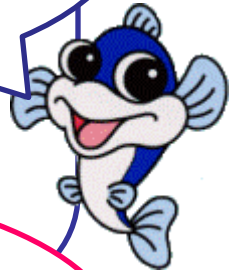
堺市役所(19階:建設局土木部河川水路課内)

堺市西区役所(4階:市政情報コーナー)

和泉市役所(3号館2階:道路河川室内)

高石市役所(2階:事業課会議室内)

閲覧と意見募集期間は、  
8月17日(水)から  
9月15日(木)まで



いただいたご意見を踏まえ、  
河川整備計画と建設事業  
再々評価の対応方針の検討  
を進めてまいります。



## ご意見をいただける方

《郵送・FAXの場合》

〒593-8324

堺市西区鳳東町4丁390-1 泉北府民センタービル内

大阪府 鳳土木事務所 建設課 河川砂防グループ あて

TEL 072-273-0123 FAX 072-275-1588

《電子メールの場合》

メールアドレス [otoridoboku@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:otoridoboku@sbox.pref.osaka.lg.jp)

# ⑤ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 洪水はん濫・浸水の危険性の公表の目的

様々な降雨により想定される地先の洪水はん濫や浸水の危険性を理解していただき、住民自らの地域の状況に応じた避難行動により洪水はん濫・浸水による被害低減の実現を目指します。

- 【具体的取組み】
- ①府民への現状の洪水はん濫・浸水による危険性の周知。
  - ②府民が的確に判断し行動するために必要な情報の提供・伝達。
  - ③府民自らが行動できる体制づくりと情報伝達や避難の訓練の実施。

## 洪水はん濫・浸水の危険性の周知

現況での洪水はん濫・浸水の危険性に対する地域住民の理解を促進するため、河川ごとに洪水リスク表示図を開示します。

表示図では、現況の河道で時間雨量50mm (1/10年)、65mm (1/30年)、80mm (1/100年)、90mm (1/200年)降雨時の4パターンのはん濫解析結果を最大浸水深 (7段階)と危険度 (3段階)の2パターンで表示しています。

### 【開示方法】

大阪府都市整備部河川室のホームページに掲載  
大阪府鳳土木事務所及び高石市にて縦覧

掲載・縦覧に向けて  
現在準備中です。

降雨の説明 (イメージ)

降雨確率	1/10	1/30	1/100	1/200
降雨規模	概ね50mm/hr	概ね65mm/hr	概ね80mm/hr	概ね90mm/hr
気象予報用語	非常に激しい雨		猛烈な雨	
人の受けるイメージ	滝のように降る(傘は全く役に立たない)		息苦しくなるような圧迫感がある	
災害発生状況	内水氾濫、地下街浸水、土砂災害		大規模な災害の発生	





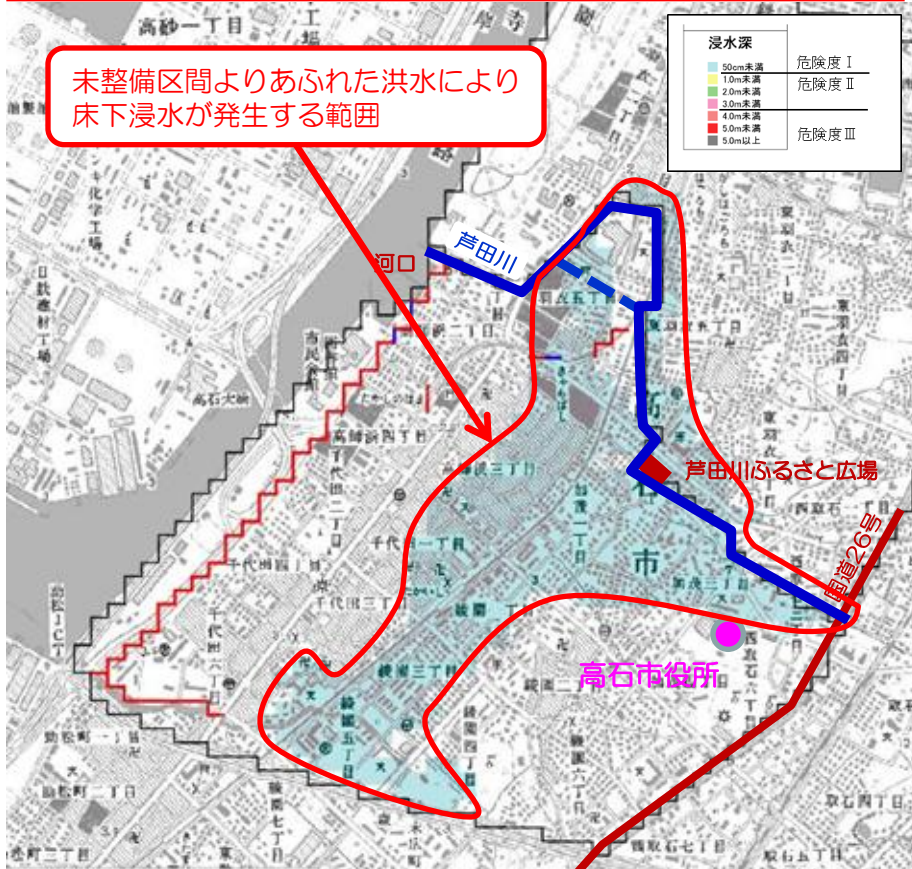
# ⑤ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 現況における洪水はん濫・浸水の危険性

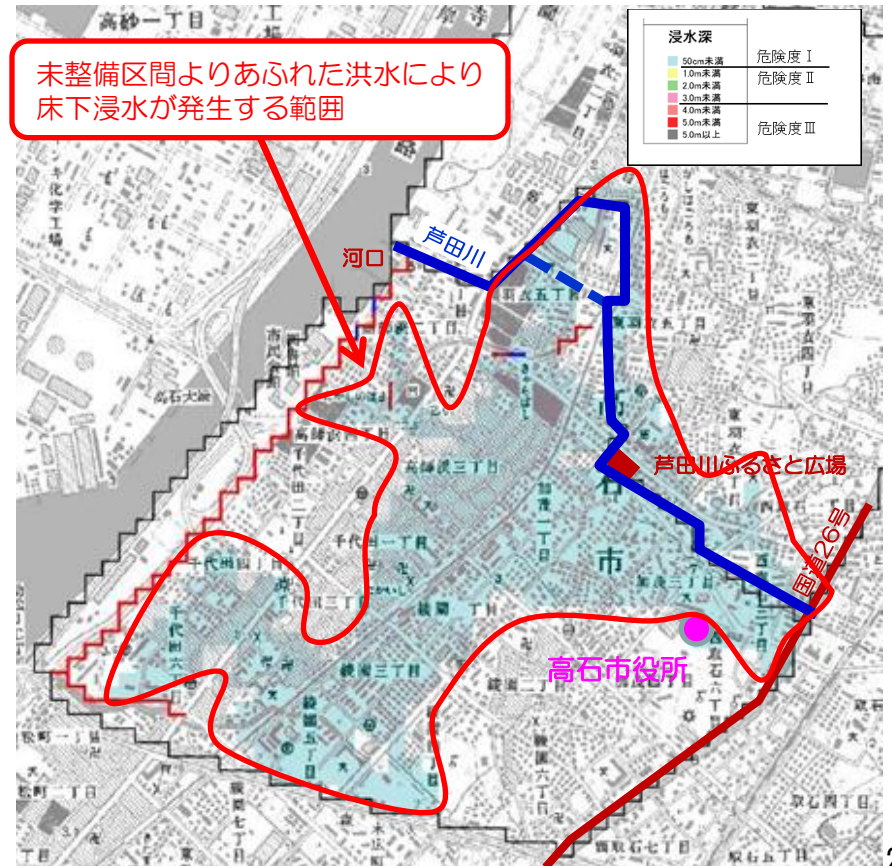
現在整備中の二層河川区間の下流まで（河口部から南海本線交差点までの区間）が完成し、二層河川区間から国道26号までの区間を未整備区間として氾濫解析を行っています。ただし、はん濫解析には内水浸水を含んでいません。

※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水。

### 現況 時間雨量50ミリ（10年に1度の確率雨量）



### 現況 時間雨量65ミリ（30年に1度の確率雨量）





# ⑤ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

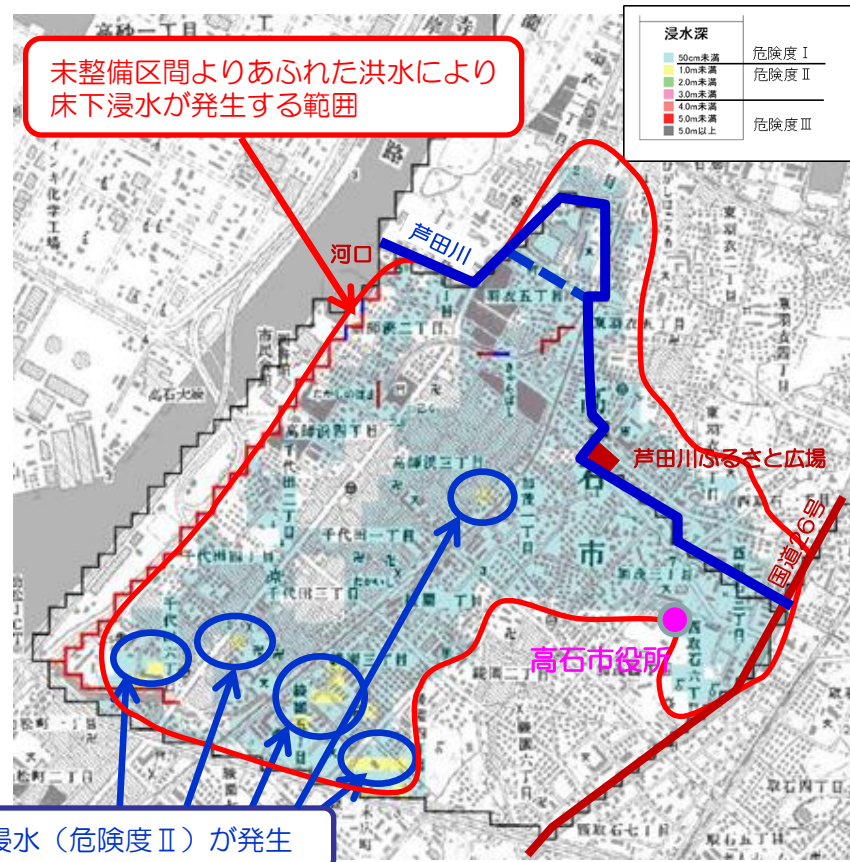
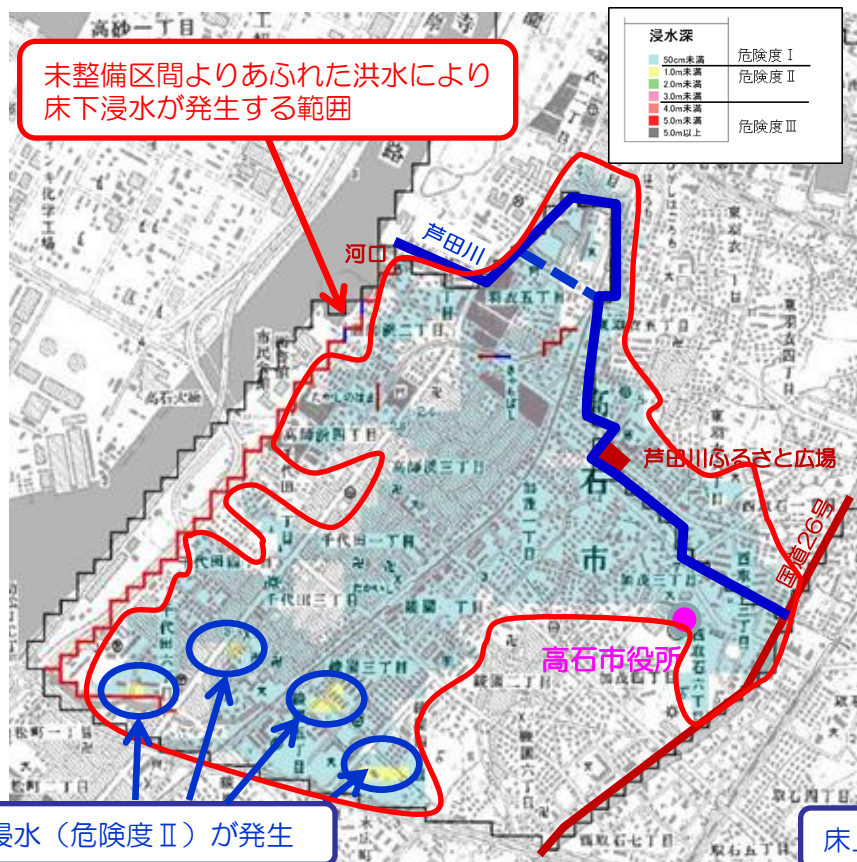
## 現況における洪水はん濫・浸水の危険性

現在整備中の二層河川区間の下流まで（河口部から南海本線交差点までの区間）が完成し、二層河川区間から国道26号までの区間を未整備区間として氾濫解析を行っています。ただし、はん濫解析には内水浸水を含んでいません。

※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水。

現況 時間雨量80ミリ（100年に1度の確率雨量）

現況 時間雨量90ミリ（200年に1度の確率雨量）





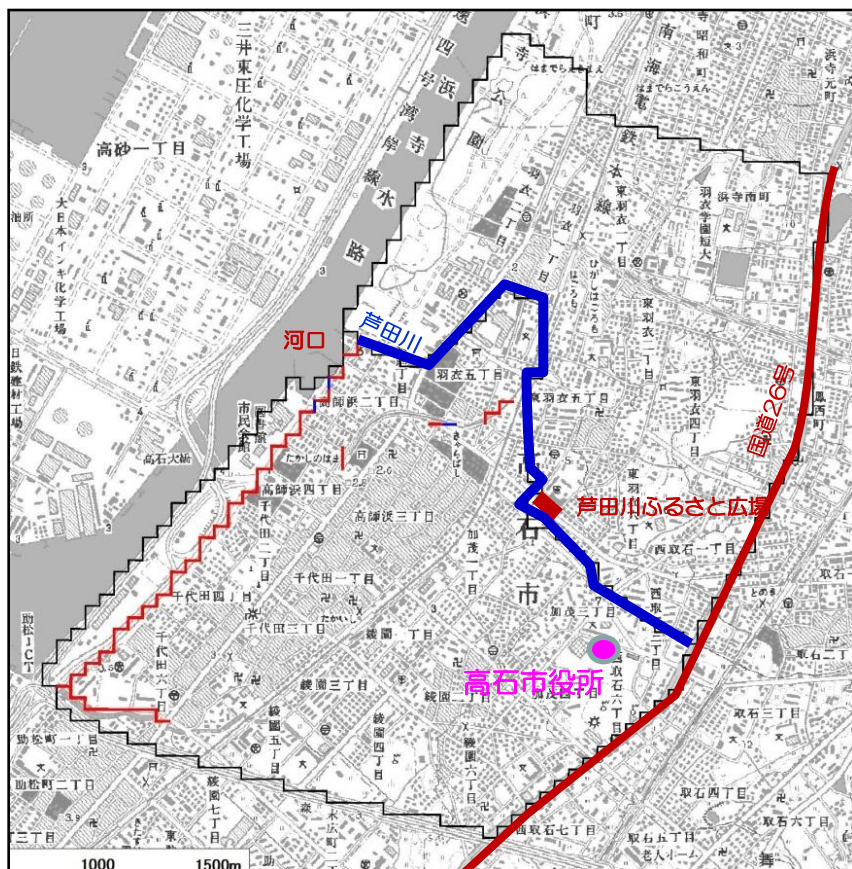
# ⑤ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 当面の治水目標対策後の洪水はん濫・浸水の危険性

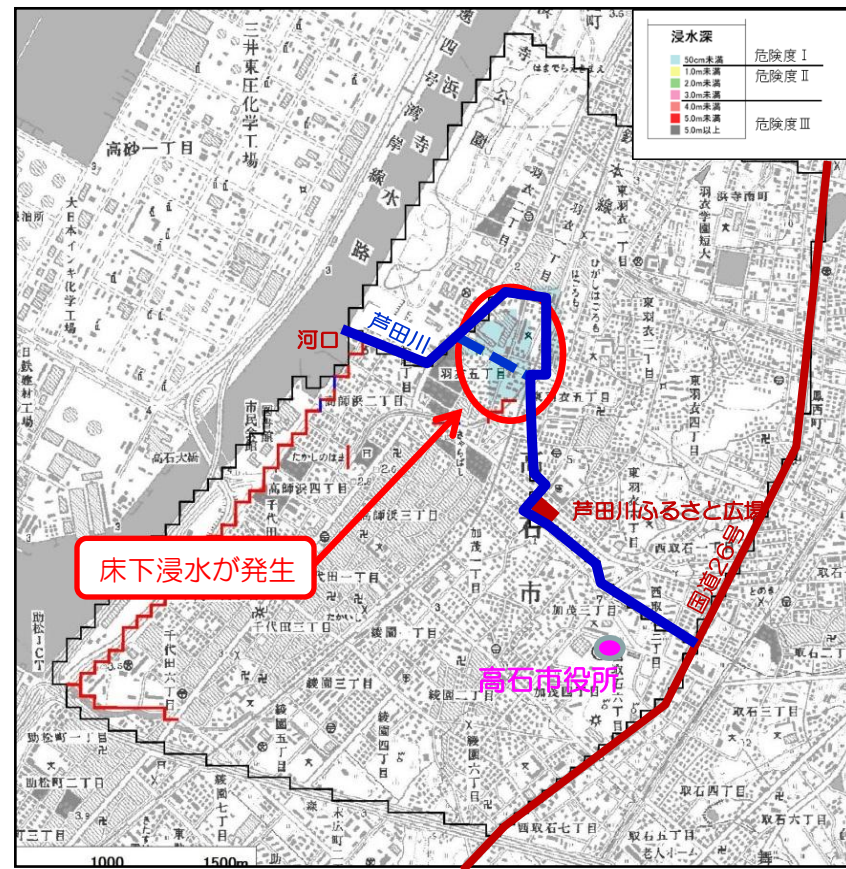
芦田川における当面の治水目標（時間雨量50ミリ）の整備後（平成30年完成予定）におけるはん濫解析結果。ただし、はん濫解析には内水浸水を含んでいません。

※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水。

整備後 時間雨量65ミリ（30年に1度の確率雨量）



整備後 時間雨量80ミリ（100年に1度の確率雨量）





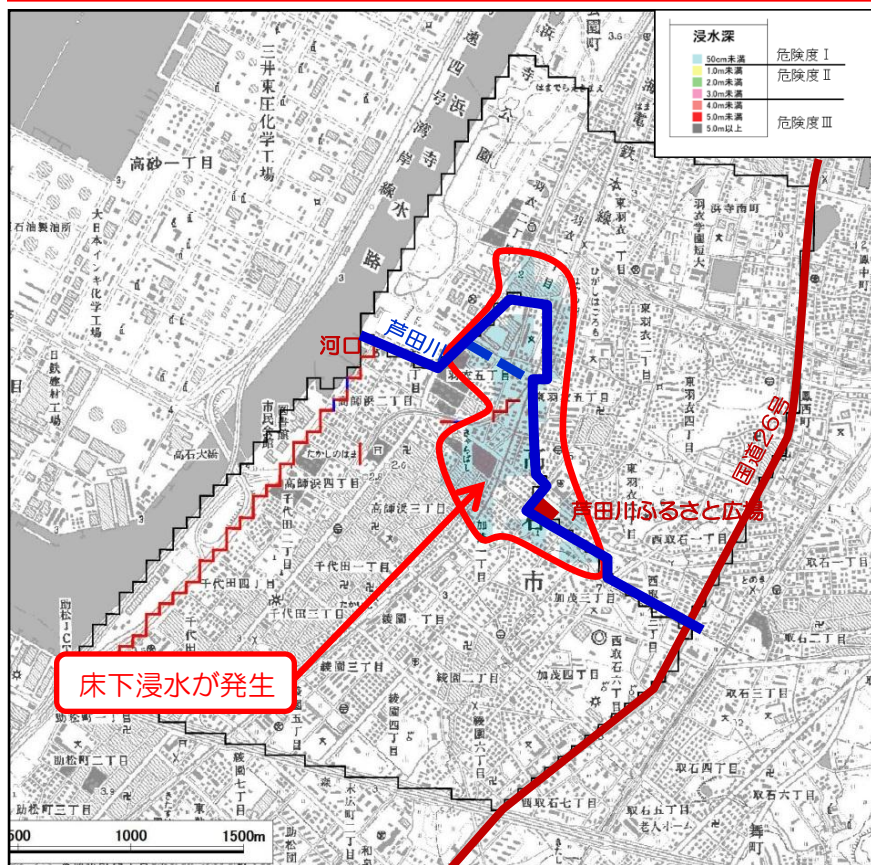
# ⑤ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 当面の治水目標対策後の洪水はん濫・浸水の危険性

芦田川における当面の治水目標（時間雨量50ミリ）の整備後（平成30年完成予定）におけるはん濫解析結果。ただし、はん濫解析には内水浸水を含んでいません。

※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水。

整備後 時間雨量90ミリ（200年に1度の確率雨量）



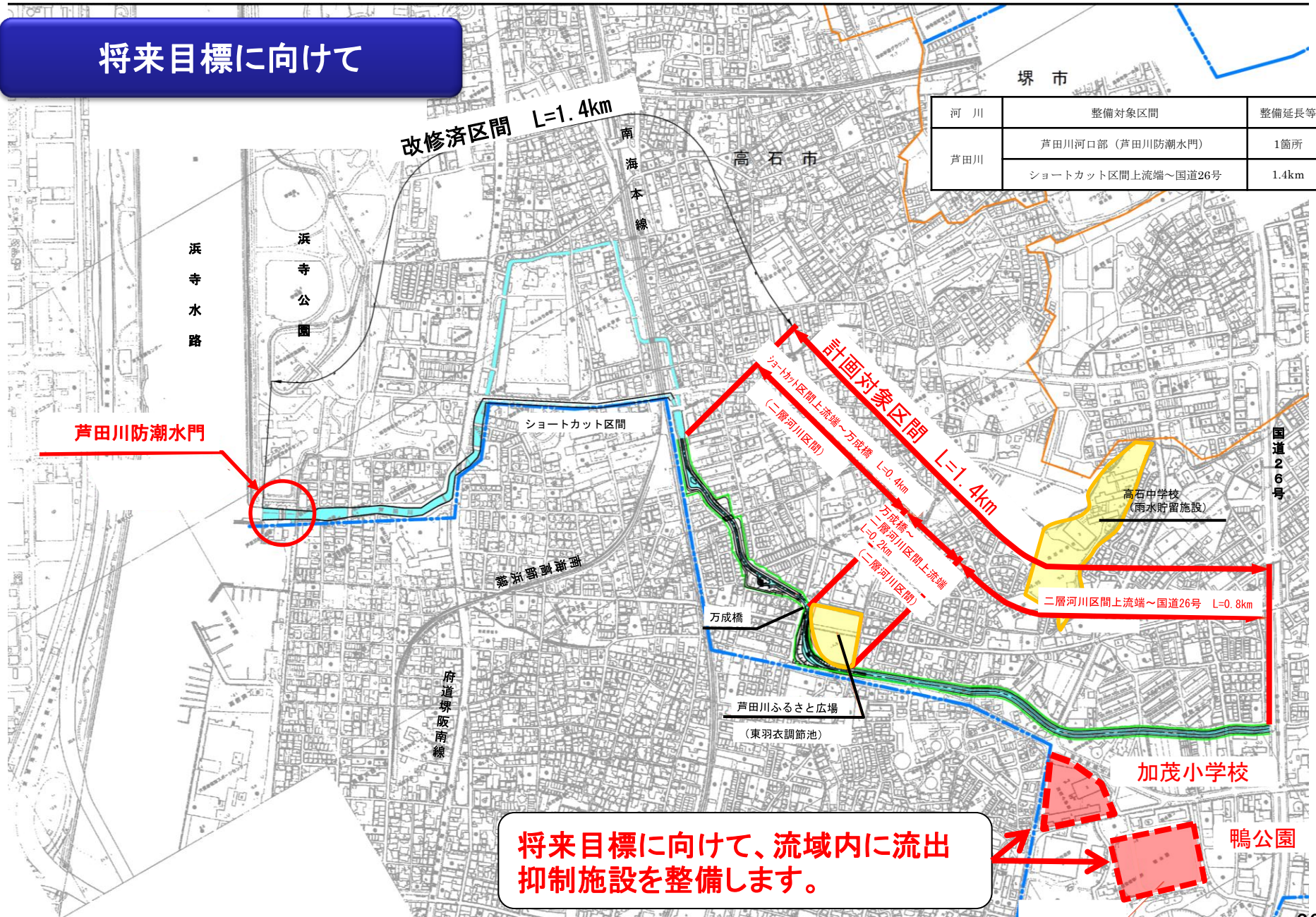
はん濫解析の結果では、当面の治水目標の達成後の芦田川で発生する浸水被害は、時間雨量80ミリ、90ミリの洪水による床下浸水だけとなっています。





# ⑤ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

将来目標に向けて



将来目標に向けて、流域内に流出抑制施設を整備します。







# ⑤ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 大阪府などによる情報提供の取組み

大阪府などでは、河川はん濫や浸水に対して、地元市と連携し、府民が的確に避難行動を取れるよう情報提供していきます。

### 防災情報

#### 【おおさか防災ネット】

<http://www-cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>



緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。

防災情報を携帯電話で入手できます。

下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

### 防災情報メール

地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。

[touroku@osaka-bousai.net](mailto:touroku@osaka-bousai.net)

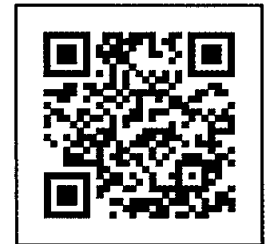


### 川の防災情報

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。

<http://i.river.go.jp/>

直接アクセスしてください。



### 大阪府河川情報

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。

<http://www-cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html>

直接アクセスしてください。



#### 【大阪府都市整備部河川室 河川防災情報】

<http://www-cds.osaka-bousai.net/suibou/index.html>



芦田川河口部での雨量、芦田川ふるさと広場付近での水位状況を確認できます。

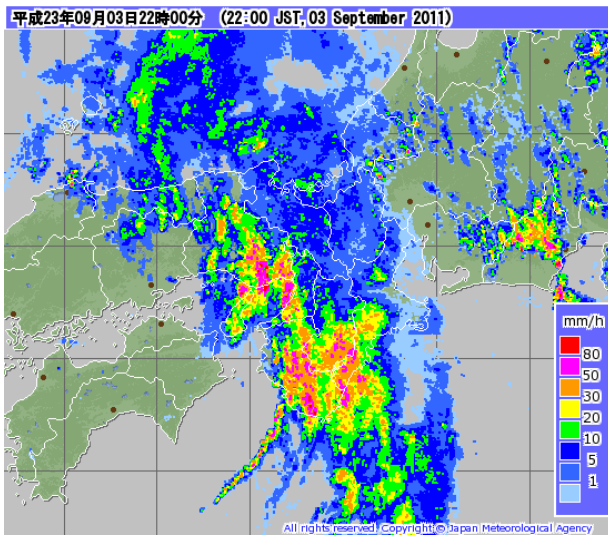
# ⑤ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 大阪府などによる情報提供の取組み

### 気象情報

#### 【気象庁】

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>



気象予報のほか、レーダによる降水状況などの情報を提供しています。

(出典：気象庁ホームページより)

#### 【国土交通省 防災情報提供センター】

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

<携帯サイト>

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

#### 【国土交通省 XバンドMPLレーダー雨量情報】

<http://www.river.go.jp/xbandradar/index.html>

NHKデジタル放送のデータ放送を利用して、河川の水位・雨量の情報を提供しています。



河川	東陣川	西陣川	西陣川	石津川	石川	大和川	
玉手橋	大塚上小橋	野田	布忍橋	万崎橋	戎橋	道明寺	柏原
-0.05m	0.37m	0m	0.09m	0.08m	2.1m	-0.51m	-2.26m

### 視聴方法

NHK放送画面の時に、リモコンの「d」ボタンを押す

TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す。

「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す。

受信機に登録されている郵便番号を判別し、お住まいの地域の地図画面が表示されます。



# ⑤ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 高石市の取組み

はん濫解析結果により浸水エリアを抱える高石市では、

- ・ **「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」※を作成中**です。

※住民に対して避難のきっかけとなる情報（避難準備、避難勧告、避難指示）を適時適切に提供するための基準書

避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドラインにおける情報発令の判断基準(案)

発令情報	発令時の状況
避難準備	要援護者等、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況。
避難勧告	通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況。
避難指示	前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。人的被害の発生した状況。

## 今後の取組みとして

- ・ 洪水リスク表示図等を基に、住民に対する説明会等を順次開催予定です。
- ・ まちかどへの浸水・避難サインボードの設置を検討していきます。  
(まるごとまちごとハザードマップ)



# ④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 個人での取組み

**洪水はん濫や浸水が起こった場合でも、被害が最小限となる取組みを行いましょう！**

### 気象情報・防災情報への注意

テレビやホームページによる気象情報・  
防災情報をチェックしましょう！

### 避難所・避難経路の確認

避難場所や避難経路は実際に歩いて確認  
しておきましょう！

### 排水溝の定期的な掃除

浸水被害の原因につながる  
排水溝のゴミ等を定期的に掃除しまし  
ょう！

### 垂直避難の検討

外への避難と2階以上への避難のどちらが  
よいかも考えておきましょう！

### 手作り土のうなどの準備

玄関や道路からの浸水を防ぐため、土の  
うを用意しましょう！

### 家電・貴重品等の高所移動

浸水に備えて、家電や貴重品は高所へ移  
動させましょう！





# ⑤ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

## 地域での取組み

大阪府では、地元市や地域住民と連携し、町会単位等での避難体制づくりに取組みます。

**STEP 1** 自主防災組織単位、小学校区単位による防災に関する勉強会の開催

**STEP 2** 自治会組織単位での防災に関する勉強会の開催

**STEP 3** 地域でのワークショップなどの開催

### 避難行動の検討



《ワークショップの開催》

住民自らの手で、避難時に必要となる情報の図面への書き込み等の活動

### まちあるきの実施



作成したわかりやすい防災マップをもとに避難経路を実際に歩くことにより危険個所を確認

### 防災訓練の実施



作成したわかりやすい防災マップを使った避難等の防災訓練の実施